

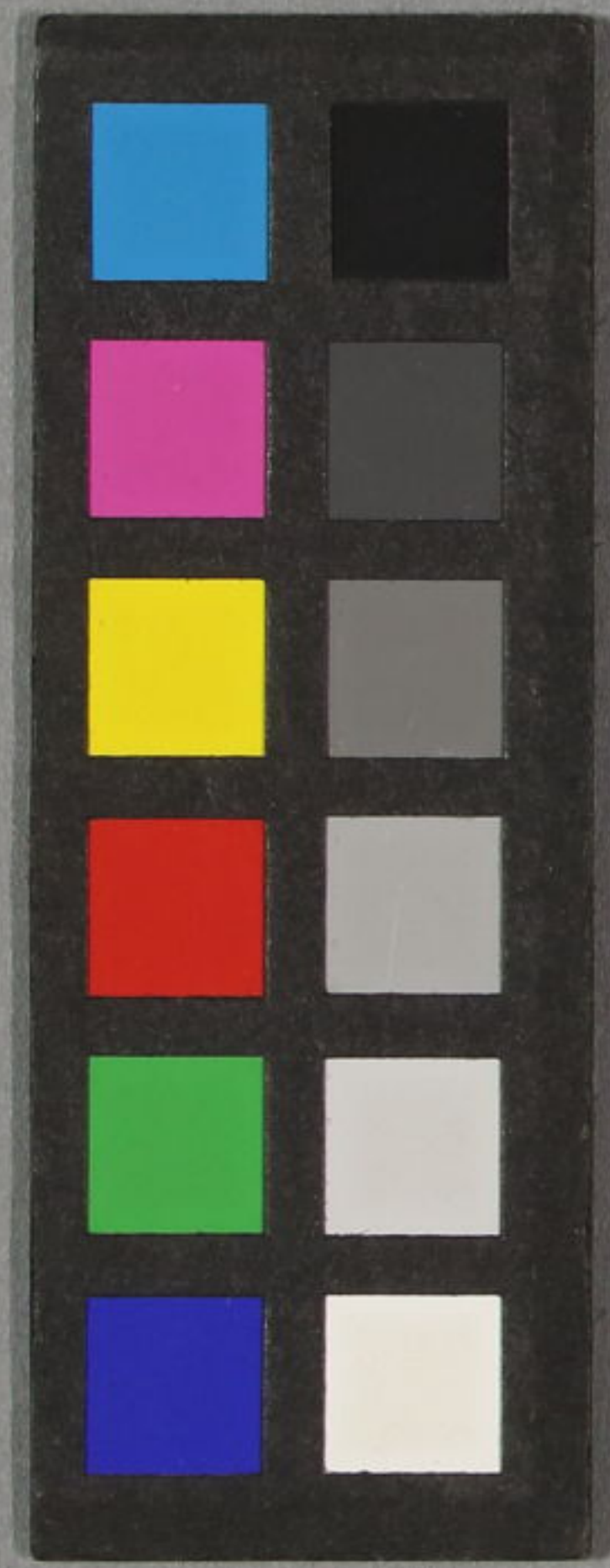
安政五年春新編



世平作
 錦襦袢
 弄璋
 房形
 十八編上下
 國貞画

由之節

~ 13
 3703
 18





十八へん
下の巻

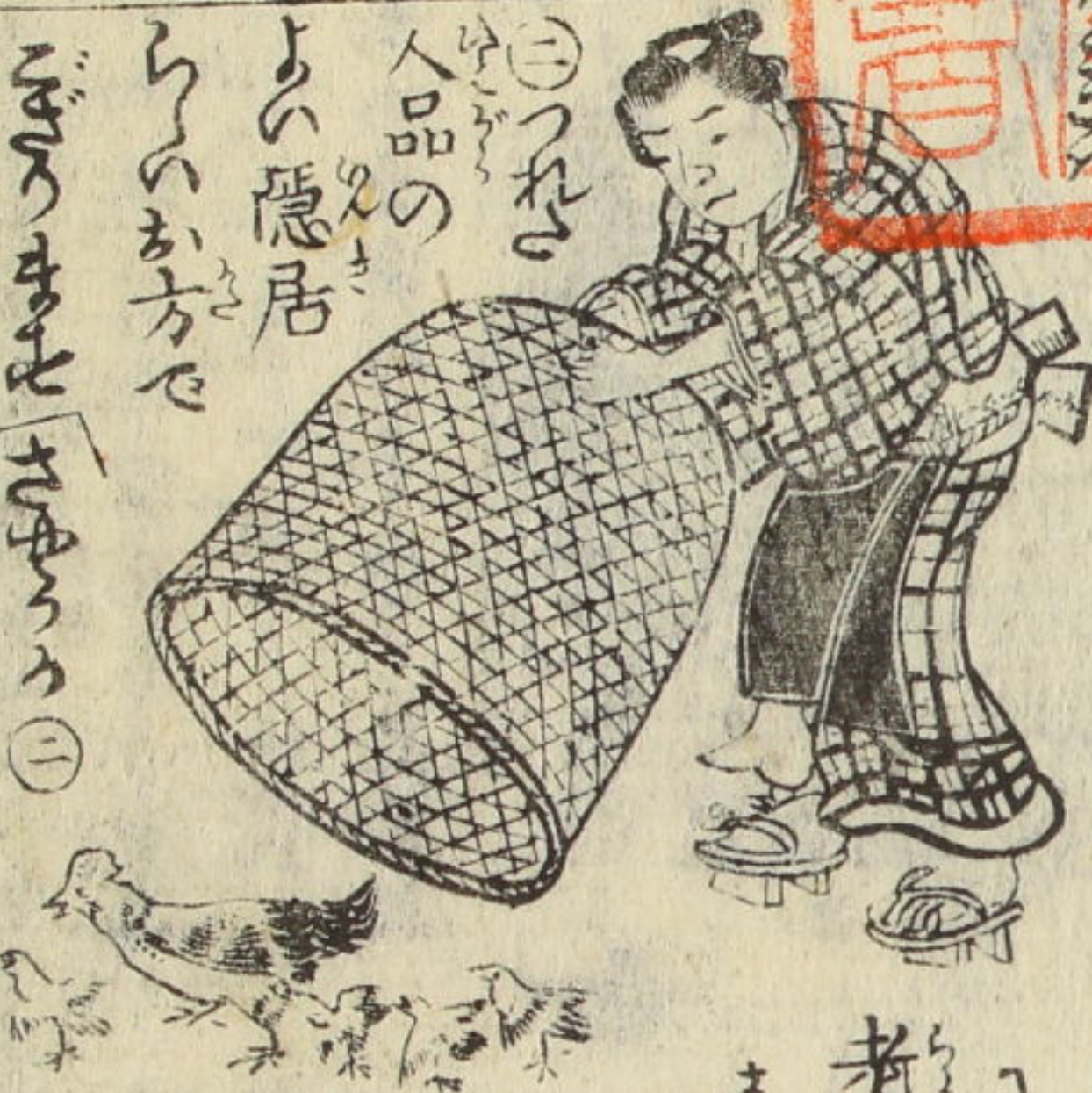
十八へん
上の巻

門 へ 13
 號 3703
 卷 18

四 明

女教房草
 形氣編
 十

○安政三良の卯月京山よのさびを脱稿
 口画のさう久何をさると読案ゆも更
 家婢菓子折を持きりか客さあが
 お自ぬや
 下女小三子
 侍と草履
 取を



此品をとり水引よは
 免角齊龜毛と
 のよる人下やと

三つね
 人品の
 よの隠居
 らのあ方で
 ざうまをさうろ
 三

三つねの茶内をせとあつ小連て書奔
 の入口柴の戸をけらつ小明を度ふ介坐
 小つたつちを見まや歳のわど六十三四可
 人品容鉢官士のめんきよとさる判發
 の人あつたつ小初めそのあつらさやげの
 禮をものべらま此翁引山のぬのぬの
 妻の娘が草さつしをまやめ老人の作を
 こつちの見はしつ性まらふあ行年とこれハ
 老人とと八十九あつら夫あつたかまさ
 ちや・京山はど草みえんむらぬのど
 よつたつちさうさうまま公物そのあつら
 めく床小掛方懸物をととさつらん
 ちやうより月かさうやつらつて目よ
 外一さる茂睡のたんざらめつら
 茂睡が梨木集をこれバ茂睡へつ

つき寛永六年はちのえ己の五月十九日
駿河の府中の御城三の丸にて生誕とて
あるなり又梨本集を著し方ハ
元禄十一年つものえ寅の年ありとの事
茂睡二十歳の

時短冊も
此短冊も
大々八百六
七十年前の
古筆あり
老人も見玉ひ

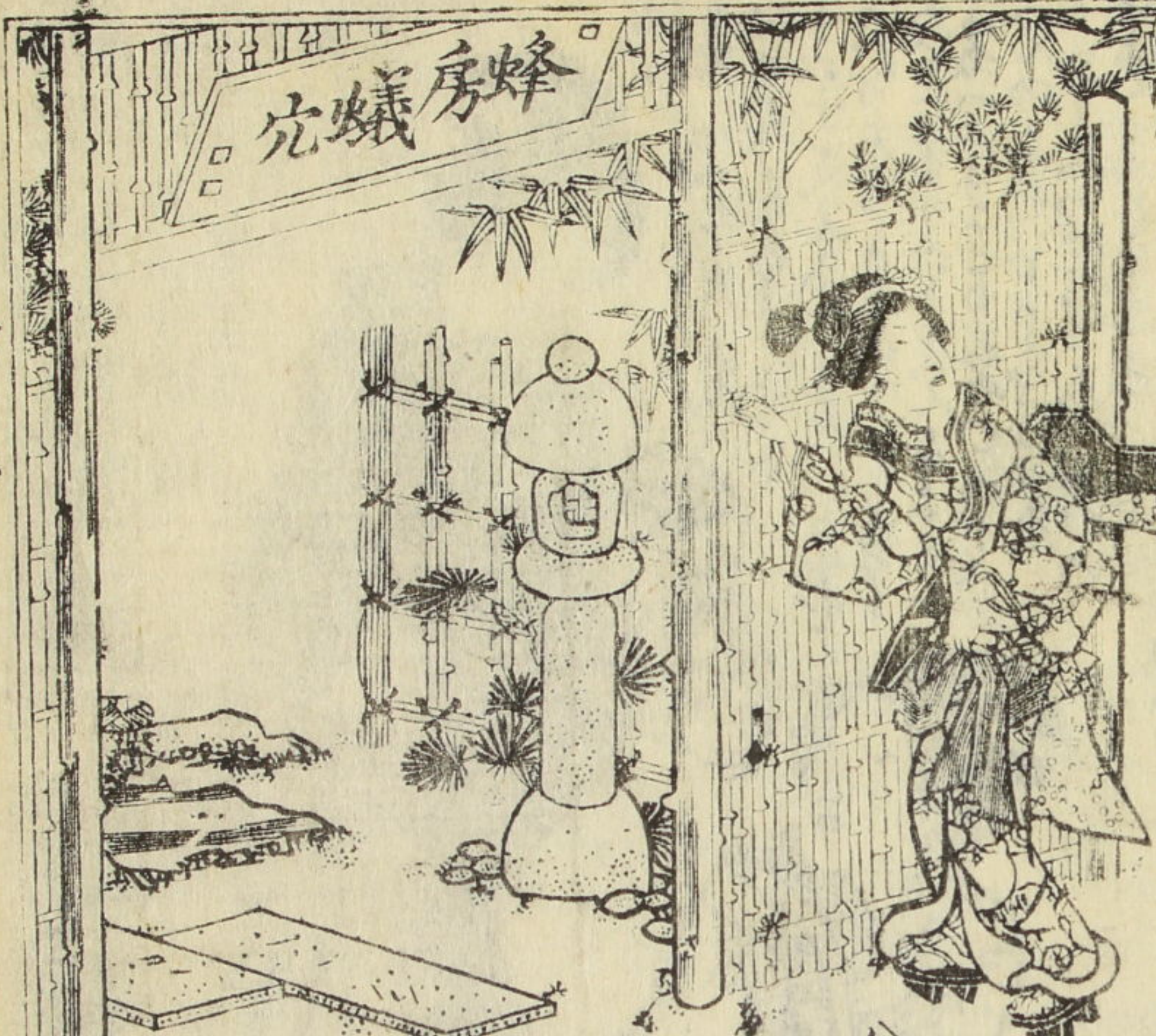


池田
寛藏
信濃ふ

あしと茂睡が真跡の誦草を
そのまゝ板刻したる

②折本をきり筆力此掛物のえんざふ
まきもたかひは京山さやうでござるまき
かま家の茂睡とよぶとる哥もあの内ふ
ごりほひ・翁一さやうへ下りひの家僕ふ
りし丹色のちりり女扇を一本さうり
さる一老人がさやうさやうさやう小娘が
かへ土産ふらじと一筆の芳一さ
されトゆふをまれば途中みだりほ
と見え扇やの包のまき筆さる
待あふ蚊のさる声あある月
いこのふはまある山をさる

①昨日昨夜枕上の愚詠をさるまき
公羽さやうさやうを目かささる扇をさ
さつりさるさる市中さる時鳥を
まき聞まきさるさるのあさるさる年かき
さるさる老人のさる名をさる女装考
の両板さるさる發販のまきさるまき



蜂房蟻穴

の遺稿があるさるさる老人の作み食
物沿革考又ハ和漢印章考さる
筆餘筆とらふ隨筆もありとさる
大ふありとさるの作もあまの識者
こさるさる厭ひ玉のぬらりさるさる
あり神史小筆を費まきさるの工さる
京侍公羽も骨董集や奇跡考の作が
あるゆゑ小張三季四の徒をのさるさる
まきと教諭してさるられさるさるの
は人ともあさるさるの厚意を謝する心
あさるあしきを記し口繪ふ代さる
安政四丁巳まき八十九歳

京山



① 山五郎
 ② 山五郎
 ③ 山五郎
 ④ 山五郎
 ⑤ 山五郎



⑥ 山五郎
 ⑦ 山五郎

⑧ 山五郎
 ⑨ 山五郎
 ⑩ 山五郎
 ⑪ 山五郎
 ⑫ 山五郎
 ⑬ 山五郎
 ⑭ 山五郎
 ⑮ 山五郎
 ⑯ 山五郎
 ⑰ 山五郎
 ⑱ 山五郎
 ⑲ 山五郎
 ⑳ 山五郎
 ㉑ 山五郎
 ㉒ 山五郎
 ㉓ 山五郎
 ㉔ 山五郎
 ㉕ 山五郎
 ㉖ 山五郎
 ㉗ 山五郎
 ㉘ 山五郎
 ㉙ 山五郎
 ㉚ 山五郎
 ㉛ 山五郎
 ㉜ 山五郎
 ㉝ 山五郎
 ㉞ 山五郎
 ㉟ 山五郎
 ㊱ 山五郎
 ㊲ 山五郎
 ㊳ 山五郎
 ㊴ 山五郎
 ㊵ 山五郎
 ㊶ 山五郎
 ㊷ 山五郎
 ㊸ 山五郎
 ㊹ 山五郎
 ㊺ 山五郎
 ㊻ 山五郎
 ㊼ 山五郎
 ㊽ 山五郎
 ㊾ 山五郎
 ㊿ 山五郎

① 山五郎
 ② 山五郎
 ③ 山五郎
 ④ 山五郎
 ⑤ 山五郎



⑥ 山五郎
 ⑦ 山五郎
 ⑧ 山五郎
 ⑨ 山五郎
 ⑩ 山五郎

⑪ 山五郎
 ⑫ 山五郎
 ⑬ 山五郎
 ⑭ 山五郎
 ⑮ 山五郎
 ⑯ 山五郎
 ⑰ 山五郎
 ⑱ 山五郎
 ⑲ 山五郎
 ⑳ 山五郎
 ㉑ 山五郎
 ㉒ 山五郎
 ㉓ 山五郎
 ㉔ 山五郎
 ㉕ 山五郎
 ㉖ 山五郎
 ㉗ 山五郎
 ㉘ 山五郎
 ㉙ 山五郎
 ㉚ 山五郎
 ㉛ 山五郎
 ㉜ 山五郎
 ㉝ 山五郎
 ㉞ 山五郎
 ㉟ 山五郎
 ㊱ 山五郎
 ㊲ 山五郎
 ㊳ 山五郎
 ㊴ 山五郎
 ㊵ 山五郎
 ㊶ 山五郎
 ㊷ 山五郎
 ㊸ 山五郎
 ㊹ 山五郎
 ㊺ 山五郎
 ㊻ 山五郎
 ㊼ 山五郎
 ㊽ 山五郎
 ㊾ 山五郎
 ㊿ 山五郎

つぎつねるもあ
らゆめあつてひ
ちりあつてひま
けよとよふく
まづトま
まの
さのふを
るの
を金子
とちのひ
うらをさびるる西を
ぬきうちのもうげん
ぬきのまきまうさ
つて西をさびるる西を
ぬきうちのもうげん
ぬきのまきまうさ



①「あはれおの
まうまうと
おのふ入ま
おまろく
きんひま
うまうら
よきまうら
きんひま
くもむお

おのふ入ま
おまろく
きんひま
うまうら
よきまうら
きんひま
くもむお

「おのふ入ま
おまろく
きんひま
うまうら
よきまうら
きんひま
くもむお



おのふ入ま
おまろく
きんひま
うまうら
よきまうら
きんひま
くもむお

五段 ちよひ又とちよひ
なまきふくしのかたがらんを
まぢふらふのんくまむひを
ちよひとちよひとちよひを
おのふ入ま
おまろく
きんひま
うまうら
よきまうら
きんひま
くもむお



おのふ入ま
おまろく
きんひま
うまうら
よきまうら
きんひま
くもむお



②「あはれおの
まうまうと
おのふ入ま
おまろく
きんひま
うまうら
よきまうら
きんひま
くもむお

おのふ入ま
おまろく
きんひま
うまうら
よきまうら
きんひま
くもむお



おのふ入ま
おまろく
きんひま
うまうら
よきまうら
きんひま
くもむお

③「あはれおの
まうまうと
おのふ入ま
おまろく
きんひま
うまうら
よきまうら
きんひま
くもむお

作者のそく
十七編みあの上
三の切の八
かゝるまゝ

八段

おひる太郎



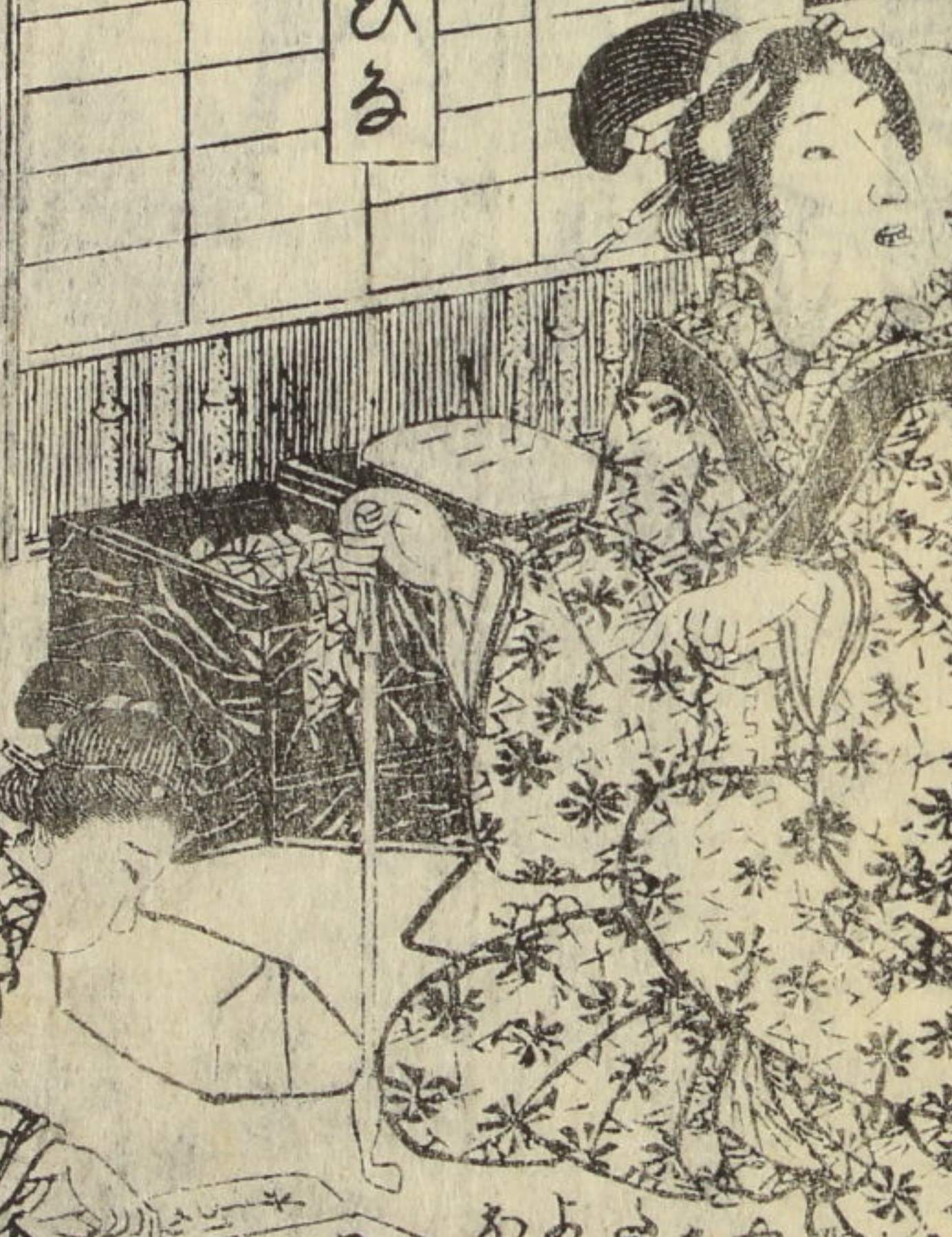
①うねまの男の
おひる太郎
まゝのまゝ

②そのまゝの
おひる太郎
まゝのまゝ

さるこのまゝ
おひる太郎
まゝのまゝ

おひる太郎
まゝのまゝ

おひる



作者のそく
十七編みあの上
三の切の八
かゝるまゝ

おひる太郎
まゝのまゝ

おひる太郎
まゝのまゝ

